学校番号	402

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合（現代文）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「精選　国語総合　現代文編　改訂版」　（筑摩書房）						
副教材等	「意味から習得　音訓別　重要頻出漢字リアルマスター3300」（尚文出版） 「読解をたいせつにする　体系古典文法　八訂版」（数研出版） 「新総合図説国語　新訂版」（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では国語の力の基礎となる、漢字や語句を丁寧に学習する姿勢が最も大切です。
・話し合いや文章記述、要約、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業も行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 記述の点検 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ノート、ワークシート等）	記述の確認及び分析 （ノート、ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	評論の内容を理解するⅠ	教材: 「バラは暗闇でも赤いか？」 「ことばとは何か」 「〈わたし〉のいる場所」 「演じられた風景」	○	○		◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b:人の意見を正確に把握し、自分の意見を述べることができる。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a,b: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト
前期	意見文を書く	〈調べたことを自分の言葉で表現することで、文章の書き方を学ぶ〉 教材:「報告文を書く」 「意見文を書く」	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a,c,e: 記述の点検と確認
後期	小説の内容を理解する	教材: 「羅生門」 「夢十夜」 「棒」	○			◎	○	a:人物、情景心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の点検及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査

後期	評論の内容を理解するⅡ	教材: 「言葉と経験」 「感性の考古学」 「来るべき民主主義」 「失われた両腕」 「名づけと所有」	○	○		◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 b:人の意見を正確に把握し、自分の意見を述べることができる。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a,b:行動の観察及び記述の点検 d,e: 記述の確認と分析及び定期考査
後期	本を紹介する	〈本を紹介しあうことや創作をすることで、話し方聞き方を学ぶ〉 教材: 「話す・聞く」 「自分を表現する」 「文学表現の世界(異化という考え方)」	○	◎			○	a:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 b:話す内容について幅広く資料などに当たって調べている。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a,b,e: 行動の観察と確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。